

BLACKS

ルイズ・ニーヴェルスン | アド・ラインハート | 杉本博司
BLACKS Louise Nevelson | Ad Reinhardt | Hiroshi Sugimoto

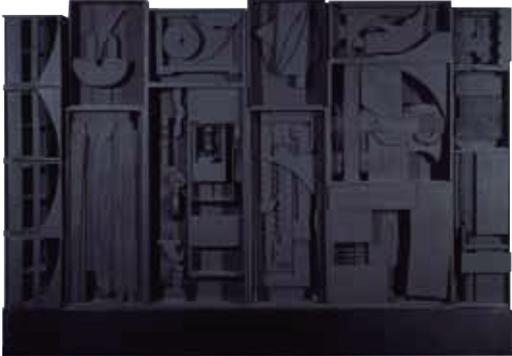
2013年2月2日[土] - 4月14日[日]

開館時間: 9:30 - 17:00 [入館は16:30まで]
休館日: 月曜日 [2月11日は開館]、2月12日 [火]
入館料: 一般1,300 [1,100]円 学生・65歳以上1,000 [800]円 小中学生・高校生500 [400]円
※ []内は20名以上の団体料金
※2月15日 [金]はDIC株式会社の創業記念日につき入館無料

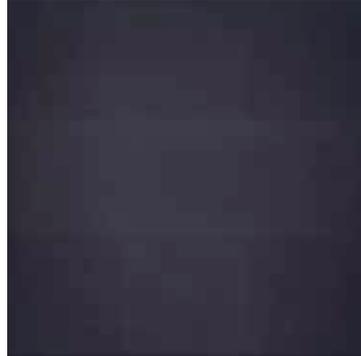
主催: DIC株式会社
会場: DIC川村記念美術館
後援: 千葉県 千葉県教育委員会 佐倉市 佐倉市教育委員会

BLACKS

ルイーズ・ニーヴェルスン(1899-1988)、アド・ラインハート(1913-1967)、杉本博司(1948-)。本展で紹介されるこれら三人の館蔵作家はいずれも、「黒」を作品の重要な要素として、特徴的な作品を制作した芸術家です。ニーヴェルスンは黒く彩色した木で立体物を構築し、ラインハートは黒一色の抽象絵画を描き、そして杉本は白黒で対象を撮りました。その意識的な取り組み方は、作家の全作品に及ぶ徹底した追求と反復として完遂し、ある限定した時期に過渡的な試みとして黒い作品を制作した作家のそれとは一線を画します。本展は、ニーヴェルスンの箱を積み上げた彫刻作品、ラインハートの黒いカンヴァス作品と版画、杉本の《劇場》シリーズを紹介します。世代や出自、作品の技法やスタイルを異にしながら、ともに黒を用いた三者の作品を組み合わせることで、日常の喧噪とはかけ離れた、異質で寡黙な世界を提示します。



ルイーズ・ニーヴェルスン《無題》1959年
セゾン現代美術館蔵
©Estate of Louise Nevelson / ARS, New York / JASPAR, Tokyo, 2012
B0123



アド・ラインハート《タイムレス・ペインティング》1960-65年
東京都現代美術館蔵
©AD REINHARDT / ARS, New York / JASPAR, Tokyo, 2012



杉本博司《アル・リンリン、バラパー》1995年
大阪市立近代美術館建設準備室蔵
©Hiroshi Sugimoto / Courtesy of Gallery Koyanagi

Louise Nevelson | Ad Reinhardt | Hiroshi Sugimoto

会期中のイベント

講演会

技法を異にした出品作品にちなみ、彫刻、絵画、写真における「黒」をテーマに、幅広くお話をいただく3回シリーズです。当日13:00より受付で整理券配布 | 先着60名 | 入館料のみ

2月23日[土] 14:00-15:30

「三次元における黒一素材、空間、色彩」

講師：梅津元氏 [埼玉県立近代美術館主任学芸員/芸術学]

3月9日[土] 14:00-15:30

「黒いカンヴァス：マティスからラインハートまで」

講師：田中正之氏 [武蔵野美術大学教授]

3月23日[土] 14:00-15:30

「闇と色彩—写真と黒の関係」

講師：清水穰氏 [同志社大学教授]

学芸員によるギャラリートーク

2月2日[土]、3月16日[土]、4月14日[日] 14:00-15:00

本展担当学芸員が展覧会の解説を行います。

予約不要 | エントランスホール集合

ガイドツアー

毎日 14:00-15:00 (講演会とギャラリートーク開催日を除く)

ガイドスタッフがコレクション展示と展覧会をご案内します。

予約不要 | エントランスホール集合

映画上映「はじまりの記憶 杉本博司」

2月16日[土] 15:00-16:30、2月17日[日] 11:00-12:30

杉本に長期取材し、創作の核を見つめたドキュメンタリー。

監督：中村佑子 [2012年 テレビマンユニオン WOWOW、83分]

1時間半前より受付で整理券配布 | 先着50名 | 入館料のみ

音声ガイド

当館収蔵品と本展出品作の解説をお聞きいただけます。

1台500円

無料入館日

2月15日[金] DIC株式会社創立記念日

お茶席企画

"Tearoom in BLACKS"

陶芸家・横山拓也の黒い茶碗

と木工作家・新宮州三の黒い

漆器で抹茶とお菓子を召し上

がれます。

館内茶室営業 10:30-16:30

一服800円 | 入館料別途



Photo: Tatsuro Hirose

クロストーク「寡黙な黒と饒舌な黒—黒をめぐる散歩」

2月24日[日] 15:00-16:30

広瀬一郎氏 [西麻布「桃居」店主] × 横山拓也氏 [陶芸家]

現代作家の器を25年間見つめ続けてきたギャラリーオーナー

と1973年生まれの気鋭の陶芸家による「黒」にまつわる四方

山話。

13:30より受付で整理券配布 | 先着60名 | 入館料のみ

DIC川村記念美術館

Kawamura Memorial DIC Museum of Art

〒285-8505 千葉県佐倉市坂戸631

Tel.0120-498-130

http://kawamura-museum.dic.co.jp



当館を運営するDIC株式会社は
"化学で彩りと快適を提案する"企業です。

送迎バス時刻表 ※()内は土・日曜・祝日のみ運行増便
歴：国立歴史民俗博物館経由 佐：佐倉市立美術館経由
上記の館が休館の場合は経由しません

京成佐倉駅発→美術館行

JR佐倉駅発→美術館行

美術館発→JR佐倉駅経由→京成佐倉駅行

8:50	9:10	9:50	10:20	(10:50)	11:20	(11:50)	12:20	-	13:20	(13:50)	14:20	(14:50)	15:20	15:50
9:00	9:20	10:00	10:30	(11:00)	11:30	(12:00)	12:30	(13:00)	13:30	(14:00)	14:30	(15:00)	15:30	16:00
-	-	10:50	(11:20)	11:50	12:50	13:20	13:50	14:20	14:50	15:20	15:50	(16:20)	16:45	17:15

交通案内

自動車で：東関東自動車道「佐倉IC」より、国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、県道22号線(八街横芝線)を八街方面へ約700m直進右手(約10分)、無料駐車場300台

東京駅から高速バスで：八重洲北口から徒歩5分、京成高速バス3番のりばから「マイタウン・ダイレクトバス佐倉ICルート」に乗車(約60分)行き | 東京駅9:55発→美術館10:57着
帰り | 美術館15:29発→東京駅16:26着

東京駅からJRで：総武快速線エアポート成田で「佐倉駅」下車(約60分)、南口の美術館バス停より無料送迎バス(約20分)

上野駅から京成電鉄で：京成本線特急または快特の成田方面行きで「京成佐倉駅」下車(約60分)、南口「シロカカメラ」前より無料送迎バス(約30分)



DIC川村記念美術館

■印=案内板